

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

多機能型事業所 なんくるみいみいち

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関の段差の排除、トイレの設備など配慮を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎朝の申し送りノートの共有や、月1回のミーティングを行い業務改善を図る。さらに、役職者は週1回のミーティングで、業務改善に努める。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者会では、アンケートを記入していただき、保護者の意向を把握し、業務改善へと繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			児童の支援・療育に関しては、スーパーバイザーと契約し、外部評価を行い、結果を業務改善に繋げている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年3回の全体研修（宿泊研修も含む）と専門的な研修を社内で行う。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			申し送りの時間を設け、放課後等デイサービス計画・評価を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			有資格者が発達検査やアセスメントシートを活用し支援を行う。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎朝申し送りと、月1回の全体ミーティングで話し合いを行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			申し送りと、月1回の全体ミーティングで話し合い、行事の見直しを行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			一日の活動の流れを作成し、実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの特徴や状況に応じて、個別と集団を組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			現場責任者と児童発達支援管理責任者による打ち合わせを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎朝申し送りと、月1回の全体ミーティングでの話し合い、支援の振り返りや気づいた点の共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日誌の作成を行っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		毎朝の申し送りと、月1回の全体ミーティングで話し合い、サービス計画の見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		放課後等デイサービスガイドラインに沿って活動を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者や管理者が代表して参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校のお迎え時に担任と、情報共有を行っている。少なくとも年1回、支援者会議を行う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現地点で必要とする利用者がいないため行っていない。必要に応じては、連絡体制の整備を行う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者からの情報共有で相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		現地点で学校を卒業した児童がいないため、実施していない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センターや病院と情報交換や連携を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		併設する認可保育園「あがみてい」の園児との交流や活動を行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		児童の帰りの送りは行わず、お迎えを保護者にお願ひし、直接話す時間を持っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者会を通して、必要に応じた支援を行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		担当者より行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		年1回の保護者面談や必要に応じて専門家の面談を行う。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会を年に6回計画し、案内している。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情ボックスの設置。保護者からの意見や苦情には迅速に対応し、報告も行う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ニューズレターや広報誌、案内を定期的に発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に関する誓約書を交わし、情報保護に努める。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			ベビーサイン、絵カード等を使い行う。保護者へも連絡帳やメモで様子を伝える。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			夕涼み会を開催し、地域住民を招待している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員間での周知を行っている。ただし、保護者への周知が不十分なので、今後行っていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月、避難訓練を行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員を研修へ積極的に派遣し、社内で共有する。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		現地点で必要とする利用者がいないため、行っていない。状況に応じて、連絡体制の整備を行う予定。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		申し送りと、月1回の全体ミーティングでの話し合い、共有を行っている。